



新年のご挨拶

(独) 労働者健康福祉機構 中国労災病院 院長 碓井 亜

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、広島市で土砂大災害(8月)、御嶽山噴火による大災害(10月)、長野県北部地震(11月)といった天災が立て続けに起こった年でしたが、一方では、テニス錦織圭選手の世界ランキングトップ5入り、ニューヨークヤンキース入りした田中将大投手の大活躍は、明るいニュースでした。

さて、日本漢字能力検定協会は、12月12日に平成26年を表す漢字を「税」と発表、京都市東山区にある清水寺の森清範貫主が縦1.5m、横1.3mの和紙に墨で大きくしっかりと「税」と書き上げられました。巷の予想では、第一位は、佐村河内守氏、小保方晴子氏、朝日新聞、野々村竜太郎氏がそれぞれ話題となったことから「嘘」を、第二位は御嶽山の噴火など天災の多かったことなどから「噴」があげられていましたが、昨年4月に17年ぶりに消費税が導入され、私達の身の周りにも増税の影響を強く感じられて選ばれたものでしょう。また、従前から導入の是非について論争となっていた消費税10%に関連した衆議院解散と総選挙が昨年末に行われ、自民党と公明党の与党が野党に圧勝したところです。

今年の干支は、動物に例えると羊です。未年生まれの特徴は、穏やかで温かく、真面目かつ誠実だといわれています。平成26年は、4月に導入された診療報酬改定や消費税率アップによって全体的に厳しい年でありましたが、未年の平成27年が皆さま方にとっても穏やかで「安寧」な年であることを願っています。

最後に、昭和30年3月に開院された中国労災病院が、今年で開院60年となります。今までのご支援に感謝し、引き続いてのご交誼を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

平成27年1月